

新潟県中越沖地震からの住宅再建に向けた今後の取り組みについて

平成 20 年 5 月 9 日

1. 柏崎市における応急仮設住宅

- 入居開始 平成 19 年 8 月 13 日
- 新潟県中越沖地震では、2 年以内に仮設住宅を解消する必要がある（特定非常災害に指定されていないため、中越大震災とは対応が異なる）
 - 柏崎市応急仮設住宅の居住世帯のピーク時 916 世帯
 - 平成 20 年 4 月末時点、828 世帯

2. 「応急仮設住宅からの住まいの再建」に向けた取り組みの経過

- 住まいの再建調査を実施（仮設住宅居住者 871 世帯が対象、平成 20 年 2 月末時点）
- 結果
 - 「住まいの再建目処が立っている」 464 世帯
 - 「住まいの再建目処が立っていない」 407 世帯
- 「住まいの再建目処が立っていない」407 世帯に対して、新潟県からの応援を受け、訪問相談を実施
 - 訪問した世帯 392 世帯
 - 訪問したが会えなかった世帯 13 世帯
 - その他 2 世帯

真に再建の
目処

3. 訪問相談の結果明らかとなった再建の方向性

- 復興公営住宅の入居を視野に入れている
 - 157 復興公営住宅入居を考えている
 - 18 復興公営住宅入居も考慮に入れて検討中
- 新規購入、建て直し、修理を希望している
 - 134 建て直し
 - 18 修理
 - 14 戸建て購入
 - 2 修理または建て直し
- 既存の物件などへの入居を考えている
 - 14 民間賃貸
 - 2 施設入所を考えている
- その他
 - 28 目処なし/未だ決められない
 - 3 同居を考えている
 - 2 その他

合計 392・・・重複なし。訪問世帯数に同じ

4. 支援計画①：復興公営住宅入居希望者への対応

復興公営住宅への入居を視野に入れている 175 世帯から要望を受け、入居見込みに関わる仮判定を実施

- 仮判定とは、収入基準、同居親族要件、住宅困窮要件に基づいて総合的に判断
- 結果、現時点では 125 世帯が入居条件を満たしていた
- 仮判定実施希望者に訪問の上、結果をお知らせした

5. 支援計画②：全般的な対応方針

- ・ 30 順調に推移しているので経過を見守る
- ・ 36 健康上の課題があるので専門家の支援を仰ぐ
- ・ 207 資金用途や再建方針について相談・支援の必要がある
- ・ 74 不動産や融資などに関する情報提供の必要がある
- ・ 101 引き続き状況の確認の必要がある

合計 448・・・重複計上を含む

6. 今後の取り組み目標

- ・ 今夏までに大方の被災世帯に住まいの再建目処を立てていただく
- ・ 具体的な対応
 - 仮設住宅「住まいの再建調査時点で目処が立っていなかった」世帯への訪問の結果を受け、それぞれの対応方針に沿って、個別相談・支援を継続実施
 - 今後は仮設住宅「住まいの再建調査時点で目処が立っている」世帯についても、世帯訪問を実施し、再建の様子を確認する
 - 仮設住宅居住世帯以外の全壊世帯についても訪問調査を実施する